



Environment (環境への取り組み)

私たちは自然エネルギーの活用や環境負荷を低減する最新技術を積極的に導入し、地域の環境と調和するまちづくりを推進しています。



ソーラーウォール「イオンモール座間」

「イオン脱炭素ビジョン2050」の推進

2018年3月、イオングループの新たな挑戦として「イオン脱炭素ビジョン2050」を発表しました。省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用などを通じて、2050年に向けて「脱炭素社会」の実現をめざします。これまで取り組んできた環境配慮型のモデル店舗「スマートイオン」はイオングループで11拠点(うち10モールが当社運営)になりました。脱炭素の視点でさらに進化させた「次世代スマートイオン」の開発にも取り組んでおり、イオンモール座間(神奈川県)はイオンの標準的な店舗と比較してCO₂排出量を30%削減しています。

「イオンのecoプロジェクト」の推進

イオングループが取り組む「イオンのecoプロジェクト」は、地球環境や生活環境について具体的な数字目標を掲げて、2020年までに実現をめざしています。(当社が所有・運営するモールにおける2018年度の実績)



省エネルギー / 自然エネルギーの活用

LEDの採用

全国のモールにおいて、共用部でほぼ100%の採用率を達成。専門店にも新規モールオープン時や既存店リニューアル時にLEDの採用を呼びかけており、切り替えが進んでいます。



太陽光発電

他の商業施設に先駆けて太陽光発電システムを順次導入し、自然エネルギーを活用した創電を行っており、一部のモールでは停電時にも電力を活用できるシステムを採用しています。



二国間クレジット制度(JCM)の設備補助事業に参画

優れた低炭素技術などの普及を通じ、他国と協力して温室効果ガスの削減に貢献し、成果を分け合う「二国間クレジット制度」に参加。2018年5月にオープンしたイオンモール セン ソック シティ(カンボジア)では、屋上に太陽光発電設備などを設置。環境省の平成28年度JCM設備補助事業に採択されています。



Social (社会への取り組み)

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために地域社会や各種団体と交流を深めて問題を共有し、その解決に努めます。



クリーン&グリーン活動「ベトナム」

イオン 幸せの黄色いレシート

毎月11日は、お買い物の精算時に黄色いレシートを発行。レシートを地域の福祉団体などの名前が書かれた専用BOXに投函していただくと、合計金額の1%と同等の品物をその団体に寄付しています。2018年度の寄付額(イオンモール合計)は38,277,327円でした。

障がいのある子どもや保護者の交流イベントに協力

イオンモール幕張新都心(千葉県)で仕事体験テーマパーク「カンドゥー」を運営する当社100%出資子会社のイオンモール キッズドリーム合同会社は、2019年3月に、発達障がいポータルサイトのLITALICO発達ナビが開催したイベントで、「出張カンドゥー」を実施。障がいのあるお子さまに、仕事体験を楽しんでいただきました。



クリーン&グリーン活動

毎月11日のイオン・デーには専門店従業員の皆さまにもご協力をいただいて、モール周辺の歩道、公園、植樹帯などの清掃活動を行っています。



献血活動への協力

当社は献血活動を推進しており、2018年度は全国で183,408名の方にご協力をいただきました。2018年12月には40のモールで日本赤十字社の学生献血推進ボランティアが主体となり献血を呼びかけ、若年層を中心とした各年代層への献血の理解と協力を促進しました。



■ 2018年度募金活動結果(全国のイオンモール合計)

■ 東北障がい者ものづくり応援募金	2018/2/10 ~ 3/11	2,847,686円
■ ミャンマー学校建設支援募金	2018/4/1 ~ 5/27	4,547,240円
■ イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン募金	2018/10/1 ~ 11/11	3,114,663円
■ アジア障がい者支援募金	2018/11/15 ~ 12/16	3,100,405円
■ 24時間テレビ募金	2018/6/8 ~ 9/2	16,940,680円
■ 西日本豪雨災害 緊急支援募金	2018/7/9 ~ 7/31	22,261,835円
■ 西日本豪雨災害 緊急支援募金(第2弾)	2018/8/1 ~ 8/31	16,373,698円
■ 「平成30年台風21号」/「平成30年北海道胆振東部地震」緊急支援募金	2018/9/7 ~ 9/24	8,176,516円
■ インドネシア スラウェシ島地震・津波被害 緊急支援募金	2018/10/10 ~ 10/21	257,397円
合計		77,620,120円

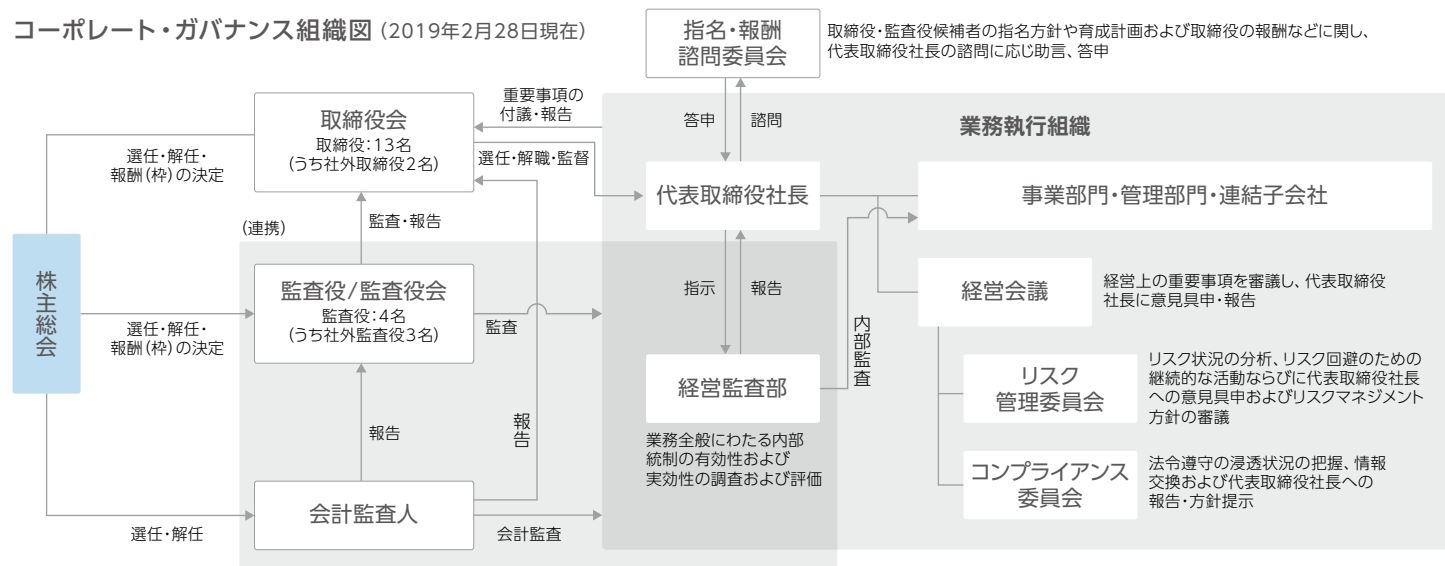
Governance (ガバナンスへの取り組み)

地域に根ざした商業施設として、いつまでもお客さまからご愛顧をいただくために。
当社はコーポレート・ガバナンスを企業経営における最重要事項のひとつに位置づけています。

■ 経営体制

当社は監査役制度を採用しています。取締役会を当社事業に精通した取締役で構成し経営効率の維持・向上に取り組むとともに、監査役機能の充実により経営の健全性の維持・強化を図っています。

コーポレート・ガバナンス組織図（2019年2月28日現在）



取締役会 経営監督機能の強化のため、代表取締役社長を議長とし、月1回以上開催。監査役も出席。(取締役2名、監査役2名が独立役員)

監査役会 監査の実効性・効率性向上のため、会計監査人と内部監査部門である経営監査部と都度相互の情報交換・意見交換を実施。

■ CSR推進体制図



■ 内部統制システム（主要事項の一部）



情報の保存・管理

決裁書、会議議事録などの文書は、その保存媒体に応じた適切かつ確実な検索性の高い状態で保存および管理を行い、必要に応じて閲覧可能な状態を維持するとともに、「文書管理規則」に定められた主管部門が社外漏洩を防止します。



リスクマネジメント

危機の未然防止および危機発生時の被害最小化を目的とした「経営危機管理規則（リスクマネジメント規程）」を策定し、リスクの減少および被害の低減に努めます。緊急かつ重大な損失の危険が発生した場合は、同規則に基づき適切な情報伝達および意思決定により的確な対応を行います。

問題点の指摘と改善

管理本部長を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設け、委員会の議事については、経営会議に報告するとともに、重要案件については、取締役会に報告します。また通報者に不利益が及ばない内部通報窓口として、ヘルプライン・イオンモール「人事110番」を設置します（当社労働組合においても「組合110番」を設置）。報告・通報があった場合、担当部門はその内容を精査して、違反行為があれば社内規程に基づき必要な処置をしたうえで、再発防止策を策定し、「コンプライアンス委員会」に報告します。

外部機関による認証・評価

私たちは「人と環境に配慮したモールづくり」をめざし、ハード/ソフトの両面から先進的な取り組みを導入してまいりました。本年度も、国内・海外の各機関から高い評価をいただいています。

■ 外部からの評価

GRESBリアルエステイト評価で「Green Star」評価を取得

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク(GRESB)とは、不動産ポートフォリオやインフラなどを含む実物資産の環境・社会・ガバナンス配慮を測る国際的なベンチマークです。環境配慮やサステナビリティに関する取り組みについて、「マネジメントと方針」および「実行と計測」の両面において優れていると高く評価され、「Green Star」評価を獲得。80点(参加企業の平均スコア68点)を取得しました。また、開示情報によって格付けされる「GRESB開示評価(ESG情報開示レベル)」においては、最上位の「A」評価を獲得しました。



CDPでスコアBを取得

CDPIは、気候変動対策を調査し企業の環境情報開示を推進する国際的な環境評価NGOです。気候変動に対する取り組みおよび情報開示が評価され、CDPより8段階評価で3番目に高い、スコアBを取得しました。



ESG投資のための株価指数構成銘柄に選定

財務情報のみならず、環境・社会・ガバナンスへの取り組み(非財務情報)で企業の価値を測り投資判断の材料とする「ESG投資」。この投資手法が急速に拡大する中で、当社は機関投資家向けに投資情報を提供する機関がESG評価に優れた企業を選別して算出する各種指数の構成銘柄に選定されています。

- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数(WIN)
- SNAMサステナビリティ・インデックス
(7年連続で選定)
- なでしこ銘柄2019(3年連続)



■ 外部認証の取得

3モールが「DBJ Green Building認証」を取得

2019年1月、イオンモール倉敷(岡山県)、イオンモール盛岡(岩手県)、イオンモール直方(福岡県)では、「DBJ Green Building認証」を取得しました。イオン



モール倉敷は5段階のうち最高位となる5つ星を獲得し、イオンモール盛岡、イオンモール直方は4つ星を獲得。これにより、合計9施設での同認証取得となります。株式会社日本政策投資銀行（DBJ）が、対象物件の環境性能に加え、当該物件を取り巻くさまざまなステークホルダーからの社会的要請への配慮などを含めた総合評価システムに基づき認証しています。

「いきもの共生事業所®」認証取得モールの拡大

THE OUTLETS HIROSHIMA
(広島県)およびイオンモール
座間(神奈川県)において、



2019年3月に「いきもの共生事業所®」認証を取得しました。
一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)が作成・登録した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどの取り組みを「いきもの共生事業推進協議会」が第三者的に評価・認証するものです。
イオンモールは今回で計9施設が認証取得となりました。